

# 自治研修あきた

## No.68

発行 平成26年3月31日  
発行者 秋田県自治研修所  
TEL 018(873)7100

## 最強のチーム秋田をめざせ

秋田県自治研修所長 金田 早苗

あすから新しい年度が始まります。所属が変わったり役職が変わったり、また、自分自身に異動がなくても所属のメンバーが入れ替わるなど、新年度はほぼ全ての皆さんが新体制でスタートを切ります。

職員の皆さんは、新年度に向けて「さあがんばるぞ」と新たな目標を立てていることと思います。

秋田県にとって、26年度は「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」のスタートの年度です。

人口減少や少子高齢化、厳しい経済雇用情勢を克服して自立する秋田を実現していくためには、第2期の行革大綱に掲げた「人材育成と組織力の向上」に力を入れ、「チーム秋田」で取り組んでいくことが重要になります。

- ・組織として求める人材をどう育成していくのか？
- ・能力開発研修を若手だけに義務づけする仕組みでいいのか？
- ・学んだことを業務に活用していくにはどんな研修がいいのか？
- ・激しい社会経済情勢の変化に対応できる政策力をどうやって養っていくか？

このような問題意識を持って検討を重ね、これまでの研修体系を見直して、26年度から新

しい体系で研修をスタートします。

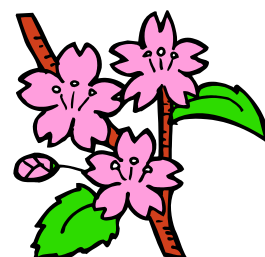
役職段階別の指定研修の他、能力開発研修の義務づけは、25歳、28歳、新任主任級、新任副主幹級としました。一般職員向けと役付職員向けにそれぞれ新規科目を多数開設します。

また、政策力を磨くための研修として、「政策テーマ別研修」を新たに開設します。

研修は若い方だけのものではありません。全ての職員の皆さんに、新たな情報や考え方を講師から「聞いて」、自分の頭で「考えて」、講師や他の受講生と「対話する」中から様々な「気づき」を得てもらいたいと思っています。そして、研修で学んだことを職場で実践してほしいのです。研修で得た知識やスキルは職場でつかってはじめて身につくものです。

上司の方も自ら率先して学ぶとともに、部下職員の研修に関心をもって、研修で何を学んできたかを聞いたり、学んだことを活かせるような仕事や役割を与えてください。

メンバーが互いに学びあって最強の「チーム秋田」をめざしていきましょう。



# 平成26年度研修実施計画の概要

## ★ 基本的な考え方としては、次の3つです。

- 1 組織が職員に期待する役割に求められる能力を開発する研修を実施します。
- 2 行政課題に対応した実践的な政策形成能力を養成する研修を実施します。
- 3 職場で実践できる研修を実施します。



## ★ 主な変更ポイント

### 【県職員】

- 1 **新任主任級職員、新任副主幹級職員**の選択必修研修 → P.3 参照  
主任級・副主幹級に昇任した職員を対象に、新たに選択必修研修を実施します。
- 2 **若手職員の選択必修**対象の見直し → P.3 参照  
若手職員の選択必修研修は、対象者を**25歳職員**と**28歳職員**にして実施します。
- 3 **特別研修**の受講対象者の拡大  
特別研修は、受講対象者に主任級職員を加え、**主任級・主査級職員**を対象に実施します。

### 【県職員・市町村職員共通】

- 1 **政策テーマ別研修**の実施 → P.4 参照  
県・市町村が直面している課題をテーマにした研修を新たに実施します。
- 2 **能力開発研修**の充実 → ページ下部参照  
能力開発研修を大幅に見直し、**新規17科目、内容リニューアル6科目を含む36科目**で実施します。  
(注) 体験研修は、県職員のみを対象に実施します。

## ★ 能力開発研修体系

### 一般職員向け

新規8、内容リニューアル4、継続2、計14科目

《新規》データの見方・活かし方、成功するプレゼンテーションほか6科目

《内容リニューアル》業務に役立つ法令の読み方、行政職員のための実用文章作成ほか2科目

《継続》行政法基礎、民法基礎

### 役付・管理監督職員向け

新規9、内容リニューアル2、継続3、計14科目

《新規》認識力・判断力向上、業務プロセスマネジメントほか7科目

《内容リニューアル》業務改善、リスクマネジメント

《継続》実務に活かせる政策法務、ファシリテーション、コーチング

### 政策テーマ別

新規6科目

→P.4 参照

### 体験研修

継続2科目

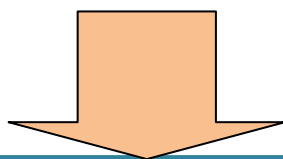
NPO体験、民間体験

## 県職員の選択必修対象要件が変わります！

組織全体のパフォーマンスを向上させるため、能力開発研修の選択必修（義務づけ）対象要件を次のとおり変更します。

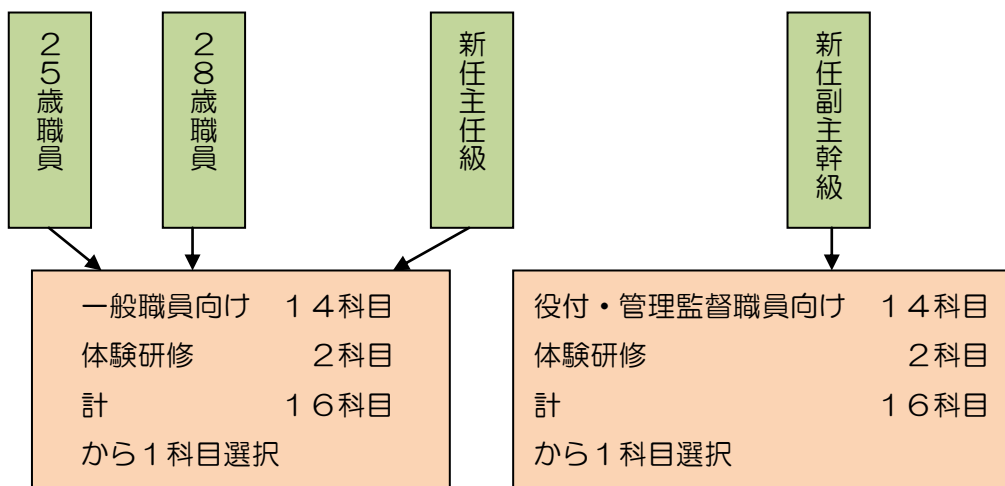
### 【変更前】

23歳～34歳までの若手職員

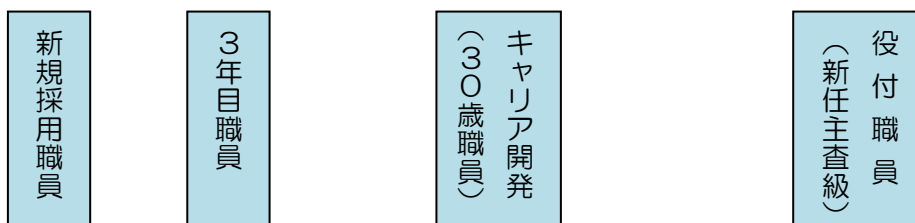


### 【変更後】

25歳、28歳、新任主任級、新任副主幹級



《参考》役職段階別指定研修（一部抜粋）



**能力開発研修は、選択必修型での義務づけだけでなく、全ての職員が受講できます。**

4月中に募集する予定ですので、「この研修を受講してみたい！」という科目に、積極的な応募をお待ちしております！

## 政策テーマ別研修を新たに実施します！

行政課題に対応する能力の向上を図るため、能力開発研修において「政策テーマ別研修」を新たに実施します。平成26年度は、次の6科目を実施します。

### 地域経済の望ましい未来を築く産業振興

～潜在的な地域資源を活用した  
産業振興策を立案します～

講師：山本 尚史（拓殖大学 教授）



### 農林水産業の6次産業化

～食と農で秋田を元気に！～

講師：大塚 洋一郎（特定非営利活動法人  
農商工連携サポートセンター 代表理事）



### 地域資源を活用した観光振興

～観光地域づくりの  
マネジメントを身につけます～

講師：大社 充（特定非営利活動法人  
グローバルキャンパス 理事長）



### 住民が支え合う地域づくり

～少子高齢化社会のコミュニティ政策～

講師：名和田 是彦（法政大学 教授）



### 住民との協働によるまちづくり

～地域の課題を住民と協働で解決する  
ために必要な取組を学びます～

講師：松元一明（学校法人産業能率大学  
総合研究所 兼任講師）



### 地域ブランディング

～地域の魅力を磨きます～

講師：木村 乃（ビズデザイン株式会社  
代表取締役）



研修内容の詳細は、4月に発行される「研修概要」に掲載します。

#### ▽編集後記

春はお別れの季節です。みんな旅立って行くんです。という歌詞の曲がありました。

かくいう自分も4年間の勤務を終え、研修所から巣立つことになりました。来年度からは、一職員として研修を受講し、スキルアップを図ろうと思います。

新しい研修体系を見ると、「これは受講したい！」と思う科目が増えたというのが率直な感想です。ぜひ多くの方に研修を受講していただきたいと思います。

【教務班 千田】

